

【学校教育目標】
稲築西小学校の空に夢を描き、「生きる力」を身に付けるために、友だちと共に学び続ける児童の育成

【本年度の重点目標】
・協働体制の確立を図る。(評価項目80以上)
・主題研修の充実を図る。(授業研の全員実施と協議会の確保・充実)
・遅刻率・欠席率の減少を図る。
・NRT学力検査の学校平均を1ポイントアップする。

項目	評価指標	自己評価	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
組織運営	校務分掌組織が連携し、協働体制で取組を行っているか。 〈結果〉平成24年度より新校務分掌を組織して、取組をすすめてきた。 教員のAB評価57%(+5)	2	・平成24年度の新校務分掌組織を基にして、さらに改善を加える。	・学校関係者評価委員としては、明確な学校教育目標や方針を明確に示されていると思います。先生方の評価の数値が低いのに驚いています。改善策を踏まえて実施してください。 ・今年度は、前年度に比べ校務分掌の変更を行ったようですので多少の戸惑いもあった事と思います。先生方は、児童数も多く様々な子ども達がいる中で学級運営にご苦労もあると思いますが、校長先生をはじめとする先生方が稲築西小学校の児童に対する思いと指導については、同じ方向を向いて進んでいるものと思いますので、これからも子ども達への指導に一丸となって進んで頂きたいと思ひます。 ・組織運営の努力が見えてきます。結果はちゃんとついてくると思ひます。	・先生方一人ひとりの個性や良さを把握し、活かす組織にしていく。そのために、平成24年度に見直した学校組織を基本に再度改善を図っていく。
	学習環境整備に努めているか。 〈結果〉本年度はかなり整備できた。 教員AB評価89%(+15)	4	・それぞれの担当による自発的な学習環境整備に取り組みるようになってきている。それぞれの分掌で取組を進める必要がある。	・成果が見えて変化が出てきていると思ひます。	・かなり改善が図られてきている。子どもの気持ちの安定や心の成長につながる環境整備に取り組む。
	総合所見 教職員の協働体制に対する意識は、以前に比べかなり高まってきている。しかし、まだ、前年度踏襲の面も多く見られ、組織の活性化のためには、「報告・連絡・相談」の徹底、各部の主体的取組の推進など課題も多い。学習環境については、学習のあしあとが掲示されたり、健康面からの改善が図られたりと改善が進んできている。				
確かな学力	子ども達は、学校を楽しみ感じて登校してきているか。 〈結果〉子ども達の様子からも、学校を楽しみ感じて登校してきていると思われるが、昨年度比からマイナスの数値を示している。 児童AB評価78%(-5)	3	・子どもたちが達成感や充実感を感じることができるよう教育内容を創っていくことと、子ども同士の人間関係をよくするための取組を工夫していく。	・先生達が努力されているのが良く分かります。頑張ってください。	・日々の授業や生活の中で、達成感や充実感を感じることができるよう取組を進めていく。
	勉強を楽しみと感じながら、取り組んでいるか。 〈結果〉教師が楽しい学習づくりに努めていると考えている割合には児童が楽しいと感じている割合が低い。 児童のAB評価79%(+8)	3	・平成24年度の研究発表会を目標にして、授業の改善に努めてきた結果、勉強を楽しみと感じている児童の割合が増えてきているので授業改善を継続充実させていく。	・勉強が楽しいと感じる児童が増えるのは、うれしいことです。今後も先生方に、授業の工夫をお願いします。	・本結果を来年度の研修に活かしながら、授業改善を継続充実させていく。
	基礎学力の定着ができてきているか。 〈結果〉 ※平成25年のNRT学力検査をもとに結果をだします。				
	思考力・判断力・表現力の育成ができてきているか。 〈結果〉まだ、十分とはいえないが、教師は改善に努めてきた。 教師のAB評価81%(+26)	4	・校内研修の充実・深化を更に図り、組織的に授業改善を図っていく。	・先生方が日々努力されているのが良く分かります。	・本年度の研修の成果をもとに、組織的授業改善を図っていく。具体的には、「授業公開」「講師招聘」「校内研修会」等を実施していく。
	家庭学習に取り組んでいるか。(学年×10) 〈結果〉児童の意識の向上が見られない。取組の見直しの必要がある。 児童AB評価68%(-4)	2	・嘉麻市の「家庭学習のすすめ」をもとに取組を見直し、その中で、児童への働きかけや保護者との連携の在り方を工夫していく。	・保護者の協力があるので、先生方と保護者のよりいっそうの協力体制で頑張ってください。 ・自習学習の取組については、いっそうの福う改善を望みます。	・保護者の理解と協力を求めるためにも、PTA「新」家庭教育宣言の取組とリンクさせながら、取組を進めていく。
総合所見 学力向上の取組が組織として行われるようになってきたことで校内における取組が前進してきたが、家庭との連携が不可欠であるので、今後学校と家庭が両輪となって前進するような工夫が必要である。					
教育課程・学習指導	一週間に一冊以上の本を読んでいるか。(図書利用指導に取り組んでいるか。) 〈結果〉学級・学年の取組に差があった。 児童AB評価65%(-6)	2	・学校図書司書の動きも活発な中、取組が進んでいるが、拡がりの面で工夫していく。	・朝読の取組をそのまま継続してください。また、にやーごさんの学習での取組も是非継続していただくと希望します。 ・小さい頃に本が好きになることが重要であると思ひますので、司書さんだけでは難しいので、低学年うちに読み聞かせのボランティアさんを今以上に活用していただくと良いのではないのでしょうか。	・PTAや地域にも「読み聞かせボランティア」を依頼し、読書の面白さを伝えていく。
	言葉遣いや呼び捨てしないように気をつけているか。 〈結果〉気をつけようとする子は増えてきたが、まだまだ実態としては厳しい。 児童AB評価62%(±0)	2	・児童会の取組を継続したり、道徳の時間にとりあげたりしながら、改善を図る。	・本当は、学校で教えることではないと思ひます。基本的には、私たち保護者が家庭ですることだと思ひます。あいさつも同じ事なのでしょうが、今の世の中でこれができる大人とできない大人が増えてきているのではと思ひます。昔は、学校の先生や地域の大人と接する機会が多かったのが、自然と出来るものだったと思ひますが、今はスポーツや塾などの習い事をする子どもの方は大丈夫ではないかと思ひます。	・学活や道徳などで言葉づかいについての学習を行ったり、児童会活動での工夫を行ったりするとともに保護者にも協力をお願いします。
	元気よくあいさつできているか。 〈結果〉気をつけようとする子は見られるが、まだまだ指導の余地がある。 児童AB評価77%(-5)	3	・教師の率先垂範の行動を行い、朝の声かけや児童会の取組等を通して改善を図る。	・教師(大人)の率先垂範の行動を学校全体で行ってください。	・自己評価を踏まえた改善策に同じ
	道徳の時間の授業の充実に向けているか。(発問・教材・教具の工夫と活用) 〈結果〉道徳の時間の充実について改善の余地がある。 教員AB評価48%(-11)	2	・発問・教材・教具を工夫した道徳の時間を設定し、じっくり考えさせたり、自分と向き合わせたりする。また、研修会を開催し、研修を深める。	・1学年単位の授業でなく、学年間を越えて授業を組むなど出来ると違った結果も見えてくるのではないかと思ひます。	・他校の研修会を積極的に紹介したり、自校の教諭を講師にしたOJTを開いたりして研修を深めていく。
新体力テストの結果を生かした授業づくりをしているか。 〈結果〉年度当初、全職員で確認して取り組んだが、充分とはいえない結果になった。 教員AB評価33%(+7)	1	・新体力テストの結果を共有し、係のリーダーシップのもと組織的な取組を行う必要がある。	・市の生涯学習課、スポーツ振興課と現場の先生方と連携を行い、授業の中でのプログラムの作り方など支援してもらおうと思ひます。	・スポコン広場の活用を推進したり、市の研修会に参加し、コーディネーション運動等を研究し活用を行う。	
総合所見 心の教育や健康・体力育成の面で厳しい結果が出ている。校内研修を行い、積極的な取組をすすめていく必要がある。					

生徒指導・ 人権・ 同和教育	より良い人間関係づくり	誰とでも仲良くしようとする意識を持って生活しているか。 〈結果〉継続した取組は必要だが、誰とでも仲良くしようとする意識はある。 児童AB評価84%(+3)	3	・人権・同和教育の充実や道徳の日常的な学習により、継続した取組を進める。	・保護者との連携が大変重要だと思います。先生達だけでなく、保護者や地域も協力しなければならない時代にきていると思います。	・自己評価を踏まえた改善策に同じ
		子どもの話に耳を傾けるようにしているか。 〈結果〉一人一人に、目を向けしっかり話をこうとしてきたが、児童との意識に差がある。 教員AB評価96%(±0)	4	・日常的に子ども達の話に耳を傾け、受容・共感的な姿勢で接するとともに、自己決定の場を設けたり、児童の行動を評価したりするなど教師の思いが届くように工夫する。	・保護者との連携が大変重要だと思います。先生達だけでなく、保護者や地域も協力しなければならない時代にきていると思います。 ・先生方の取組が大きく子どもの成長に影響することを意識した取組をお願いします。	・児童の捉え方、生徒指導の基本に対する方針を共有し、実践する。
		学校の決まりや約束を守る子どもを育てているか。 〈結果〉学校のきまりや約束を守るような指導が弱くなってきている。 教員のAB評価64%(−14)	2	・教職員できまりや約束の共通理解を図り、指導を徹底していく。	・中学校、PTAを巻き込んだ決まりや約束の共通理解を図りたいものです。 ・きちんとした罰則を設けるなど、社会全体で子どもも大人も一緒に守るルールを作る必要があると思います。委員会の中でもありましたが田川市郡全体でのルール作りは良い例だと思います。	・教職員できまりや約束の共通理解を図るとともに、PTAや中学校と連携し、「西小のきまり」を作って指導に活かしていく。
		いじめや不登校児の対策をたてて予防に努めているか。 〈結果〉いじめの早期発見早期対応に努めてきたが、まだ、甘さがある。 教員AB評価86%(−5)	3	・定期的に児童の様子を交流したり、児童・保護者アンケートを確実に実施し、早期発見早期対応に努める。また、チェックリストを活用するなど改善を加えていく。	・保護者との連携がとても重要だと考えています。	・定期的なアンケートの実施とチェックリストの活用をしながら、早期発見・早期対応に努める。その事を保護者にも常に伝えながら連携を深めていく。
総合所見	よりよい人間関係づくりや積極的な生徒指導にさらに取り組む必要がある。データも活用しながら実態を踏まえ、生徒指導の充実や「心の居場所づくり」を重点目標にかかげ取り組んでいく。					
保健・安全管理	安全・安心な学校作り	具体的な事例をあげながら、日々の生活における健康安全に留意した的確な指導ができていますか。 〈結果〉日々、指導に努めてきたが、さらなる充実を図る必要がある。 教員AB評価86%(−1)	3	・日常的に安全指導を振り返りながら、その充実にも努め、安全な環境の整備を図る。	・保護者・地域の方々の協力があれば、より安全だと思います。	・新一年生の安心メール加入の促進を図る。PTAの取組とも連動させながら、職員の交通指導の在り方を見直し取り組んでいく。
		総合所見	日常的な交通安全の呼びかけや他機関と連携した取組の推進を図っていく必要がある。また、保健安全教育を充実するための組織的な取組を行っていく。			
研修	教員の資質向上	主題研究が計画的に進んでいるか。 〈結果〉研究主任を中心に、全職員で計画的に研修を進めてきた。 教員のAB評価86%(+29)	4	・本年度は、主題研究が大きく進んだ。今後は、この成果を生かし、継続発展していく。	・先生方お疲れさまでした。研究主任を中心に組み込まれた成果は後ほど出る信じます。継続してください。	・平成24年度の研究発表会に向けた取組の成果を生かして子どもの変容を求めて研究を進める。
		指導力を高めるために自ら研修の機会を求めているか。 〈結果〉自ら進んで研修の機会を求めた教職員が増えた。 教員のAB評価75%(+23)	3	・自ら研修の機会を求める教職員が確実に増えてきている。今後は、研修で得た成果を還元できるようにしていくことも大切である。	・頑張ってください。	・校外研修を推進したり、OJTの計画的実施を図ったりするなど、指導力の向上に努める。
		総合所見	主題研究について、大きく前進した。また、指導主事からの指導を仰いだり、自ら研修会に積極的に参加するなど研修の意欲向上が見られる。次年度は今年度の成果を生かし、積み重ねができるように取組を継続発展していく必要がある。			
地域・保護者等との連携	開かれた学校づくり	保護者や地域との信頼関係づくりを積極的に行っている。 〈結果〉教師自身が信頼関係に努めてきたが、さらなる充実と工夫が必要である。 教員のAB評価79%(+1)	3	・HPの活用、保護者アンケート等を今後も活用しながら、積極的に学校の情報を保護者や地域に公開し、共通理解のもと教育が進められるようにする。	・校区内の回覧ですいぶん学校の中での取組や様子が分かり良いと思います。今後も継続してください。 ・私も協力しますので頑張ってください。	・今後も、学校通信の校区内行政区回覧を継続したり、安心メールの充実を図ったりする。さらに、学年・学級通信の充実、ホームページの充実を図る。
		総合所見	保護者や地域の連携なくして、教育は成り立たない。教職員もそれを意識して取り組んできた。今後も、更に、信頼関係づくりに努めていきたい。			